東浦町条例第 23 号

東浦町飲酒運転根絶条例

(目的)

第 1 条 この条例は、飲酒運転の根絶に関する理念と施策の基本を定めることにより、町、町民等、事業者及び酒類提供者が一体となった飲酒運転根絶の活動を推進し、飲酒運転のない安全で安心な町民生活の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 自動車等 道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号）第 2 条第 1 項第 9 号に規定する自動車、同項第 10 号に規定する原動機付自転車及び同項第 11 号の 2 に規定する自転車をいう。
- (2) 飲酒運転 酒気を帯びて自動車等を運転する行為をいう。
- (3) 町民等 町内に居住し、勤務し、通学し、又は滞在する者をいう。
- (4) 事業者 町内において事業を営む個人又は法人その他の団体をいう。
- (5) 酒類提供者 酒類を提供し、若しくは販売する者又はこれらの行為に従事等する者をいう。

(町の責務)

第 3 条 町は、飲酒運転の根絶に関する施策を実施するものとする。

2 町は、前項の施策を推進するために、町民等、事業者、酒類提供者並びに愛知県及びその他の関係機関と連携して、飲酒運転の根絶に向けた活動を実施するものとする。

(町職員の責務)

第 4 条 町の職員（地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 3 条に規定する一般職又は特別職に属する者をいう。）は、飲酒運転の根絶について、自らの行動を厳しく律するとともに、町民等に範を示すべき立場を深く自覚し、及び率先して取り組むものとする。

(町民等の責務)

第 5 条 町民等は、飲酒運転が重大事故の原因となるものであることを自覚し、日頃から一人ひとりが「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」という強い意志をもって、家庭、地域及び職場において飲酒運転を根絶するための取組を行うよう努めるものとする。

2 町民等は、飲酒運転をするおそれがある者に対し、飲酒運転を防止するために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

3 町民等は、町が実施する飲酒運転の根絶に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(事業者の責務)

第 6 条 事業者は、その事業の用に供する自動車等の運行に当たり、運転者が酒気を

帯びていないことを確認する等の飲酒運転を防止するために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

- 2 事業者は、従業員及びその関係者に対し、飲酒運転の根絶に関する教育、指導その他必要な措置を講ずるよう努めるものとする。
- 3 事業者は、町が実施する飲酒運転の根絶に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(酒類提供者の責務)

第7条 酒類提供者は、酒類の提供を受ける者が飲酒運転をするおそれがあるときは、飲酒運転を防止するために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

- 2 酒類提供者は、施設、駐車場等の見やすい場所に飲酒運転の防止を呼びかける文書、ポスター等を掲示する等の飲酒運転を根絶するために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。
- 3 酒類提供者は、町が実施する飲酒運転の根絶に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(飲酒運転根絶町民運動の日)

第8条 町は、町民等の飲酒運転の根絶に対する関心と理解を深めるため及び町民等が行う飲酒運転の根絶に関する活動を促進するため、飲酒運転根絶町民運動の日を定めるものとする。

- 2 飲酒運転根絶町民運動の日は、町長が指定する日とし、町、町民等、事業者、酒類提供者並びに愛知県及びその他の関係機関と連携して、飲酒運転の根絶に関する啓発活動を行うものとする。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(東浦町交通安全条例の一部改正)

- 2 東浦町交通安全条例（平成13年東浦町条例第21号）の一部を次のように改正する。

次の表中、改正前の欄の条を改正後の欄の条に改める。

改正後	改正前
(飲酒運転の根絶) 第9条 <u>飲酒運転の根絶に関し必要な事項は、別に定める。</u>	(飲酒運転の根絶) 第9条 <u>町長は、関係機関等と連携して飲酒運転の根絶に関する普及啓発活動を行い、飲酒運転の根絶の気運を高めるよう努めるものとする。</u> 2 <u>住民及び事業者は、家庭、職場、地域社会等において飲酒運転を助長するおそれのある環境の根絶に努めるとともに、相互に協力して飲酒運転の根絶のた</u>

	<u>めの活動を推進するよう努めるものとする。</u>
--	-----------------------------